

家畜衛生情報

684号
東部地域畜産経営技術推進指導協議会
富山県東部家畜保健衛生所

西部地域畜産経営技術推進指導協議会
富山県西部家畜保健衛生所

2026.5.10

くろべ牧場放牧開始.....	1	北陸三県和牛子牛市場の結果.....	4
暑熱対策について.....	2	酪農研修会開催される.....	4
「とやまの畜産暑熱対策支援事業」 補助金のご案内.....	2	令和8年度市町村畜産担当者名簿.....	5
飼料関連事業のご案内.....	3	防疫情報.....	6
使用基準新定により使用禁止期間に 注意が必要な動物用医薬品.....	4	新規採用職員紹介.....	6

くろべ牧場放牧開始



(くろべ牧場まきばの風の放牧の様子)

4月18日から19日にかけて、くろべ牧場まきばの風で放牧ふれあいデー2026が開催されました。多くの家族連れが見守る中、今シーズン初めての放牧が行われ、12頭の牛と2頭の馬が放牧場へ元気よく駆け出しました。ふれあい広場では、ヤギが放牧され、親子がふれあい広場に入り、餌やり体験を楽しんでいました。

うしのいえM00ガーデンでは、ホルスタイン種、ジャージー種、ブラウンスイス種の牛乳からバターを作りその食べ比べや、3種類の牛乳の飲み比べ体験など、くろべ牧場ならではのイベントが開催されました。

(東部家保環境課 稲葉課長)

暑熱対策について

気象庁が発表した直近の3か月予報では、平均気温は高めに推移すると予想されています。早めの暑熱対策で夏場の家畜の損耗を防止しましょう。

<牛編>

牛は寒さに強い一方で暑さに弱く、気温が20℃を超えるとストレスを感じ始めると言われています。暑熱ストレスにより、食欲低下、乳量・増体量の減少、起立時間の増加、繁殖成績の低下が起こるため、夏前から早めに対策を講じることが重要です。対策としては、①送風により体感温度を下げる、②細霧やドライミストと送風を組み合わせることで気化熱を利用する、③遮光ネットやグリーンカーテン、屋根への石灰塗布や散水によって畜舎内温度を下げる、などが挙げられます。

また、飼料の食い込みを改善させるために、良質な粗飼料への切り替えや切断長の短縮など、粗飼料摂取を促す工夫が重要です。あわせて、水槽の清掃・点検を行い、十分な飲水量を確保する必要があります。

繁殖面では、暑熱による体温上昇が卵子の成熟や受精に悪影響を及ぼし、受胎率の低下につながります。一方、受精卵移植（ET）は、発育した受精卵を母体に移植するため、比較的暑熱の影響を受けにくく、暑熱期の受胎率向上に有効な技術とされています。万一、牛が熱射病を発症した場合には、体表を水で冷やしたり、直腸内に氷を挿入したりして、速やかに体温を下げるのが有効です。

（東部家保防疫課 早苗主任）

<豚編>

人も豚も生きていくために必要な最も重要なものは「空気」と「水」です。

豚舎内の空気の組成は、豚舎構造や換気システムに加え、飼養密度も大きく影響を与えます。離乳豚では、1頭あたりの占有面積が0.33㎡以下で増体等に悪影響を及ぼすという報告があります。今年、飼養衛生管理基準の遵守状況を確認した際、飼養豚房の面積を計測させていただきました。実際の豚房面積と飼育頭数から密飼いになっていないか、確認してください。また、水の飲み口についても離乳豚10頭当たり1口の飲水ピッカーが適切とされています。豚房を上げたり、水の飲み口を増やしたりするなど豚舎構造の改修はすぐに実施するのは難しいかもしれませんが、飼養頭数やピッグフローを見直すことで、対応できる内容もあると思います。人も豚も暑い夏を乗り切るために今一度、飼養環境の点検をお願いします。

（東部家保防疫課 先名係長）

<鶏編>

採卵鶏は暑さに弱く、一般に気温が27℃を超えると採食量が低下すると言われています。その結果、産卵数の減少、卵質の低下、疾病への抵抗力の低下など、さまざまな影響が懸念されます。これらを防ぐため、早めの暑熱対策をお願いします。まず、①換気扇や送風機の点検・清掃を行いましょう。汚れが付着すると風量が低下し、換気効率が悪くなるだけでなく、電力消費の増加にもつながります。清掃により換気量の確保と省エネの両立が期待できます。また、②飲水の冷却も有効です。冷水の給与は採食量の維持・改善に役立ち、産卵率の低下防止も期待されます。今一度、飼養環境を見直し、本格的な暑さに備えましょう。

（東部家保防疫課 手崎獣医師）

「とやまの畜産暑熱対策支援事業」補助金のご案内

暑熱による畜産物生産量の低下を防ぎ、県畜産物の安定供給と畜産経営体の収益性を確保するため、家畜への暑熱ストレスを軽減するための施設改修や機械設備の導入を支援します。

1 事業実施主体（支援の対象となる方）

県内で畜産を営む経営体（酪農、肉牛、養豚、養鶏）

2 補助対象事業

家畜の暑熱ストレス低減のための施設改修や機械導入支援

- (1) 畜舎の断熱性向上に必要な改修（遮熱塗料の塗布、断熱材の設置等）
- (2) 畜舎内温度を下げる機械設備の導入（細霧装置、換気扇等の新規導入、増設等）

3 補助率、補助金の上限額、補助件数

補助率：1／3以内 補助金の上限額：70万円 補助件数：4件程度（予算額：280万円）

4 事業実施計画書提出先：富山県農林水産部農業技術課 畜産振興係



5 受付期間：令和8年4月20日(月)から5月19日(火)まで

※事業実施計画書の作成にあたっては、広域普及指導センターの担当者に必ずご相談ください。

※要望多数の場合は、補助金の減額等により対応する場合があります。

6 お問い合わせ先

富山県農業技術課畜産振興係 TEL 076-444-3288、広域普及指導センター TEL 076-429-5043

(農業技術課 中村副係長)

飼料関連事業のご案内

県では、飼料価格等の大幅な高騰の影響を受けている生産者の皆様の経営安定を支援するための事業を実施しています。

各事業の内容については、下記をご参照ください。

<飼料価格高騰経営安定緊急支援奨励金>

1 事業内容

生産コスト低減等の取組メニュー（飼料設計見直し、飼料用米・稲WCSの活用、衛生対策等）に取り組む畜産農家に対して、配合飼料購入量（実績）に応じ、奨励金を交付します。

2 対象期間

令和8年度（令和8年4月～令和9年2月）

第1、第2四半期分と第3、第4四半期分の年2回申請受付

3 補助単価

上限800円/t

4 事業実施主体

県内の畜産農家（県から直接交付）

5 予算額

37,600千円（重点支援地方交付金）



<飼料生産資材価格高騰緊急支援事業>

1 事業内容

畜産農家等が生産する飼料の生産資材経費（種苗、燃油等）の高騰分を令和8年度収穫面積（R7秋播き、R8春播き面積）に応じて助成します。

2 補助単価

定額450円/10a以内

3 事業実施主体

公益社団法人 富山県畜産振興協会（畜産農家等から畜産振興協会へ申請）

4 予算額

2,900千円（事務費 200千円含む）（重点支援地方交付金）

<耕畜連携濃厚飼料生産利用支援事業>

1 事業内容

堆肥利用及び子実トウモロコシの生産・利用に必要な機械の導入経費の一部を支援します。

2 標準事業費

10,000千円/件

3 補助率

県1/3（上限：3,330千円、市町村任意）

4 事業実施主体

耕畜連携協議会

5 予算額

10,000千円（重点支援地方交付金）



※詳細については農業技術課又は事業実施主体にご相談ください。（農業技術課 松原主任）

使用基準新定により使用禁止期間に注意が必要な動物用医薬品

3月24日に動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令が一部改正され、同日から施行されました。今回の改正内容は下記のとおり新たに基準が設定されました。

医薬品	使用対象動物	用法及び用量	使用禁止期間
ケトプロフェンを有効成分とする注射剤（本省令別表第2に掲げるものを除く。）	牛（生後13月を超える雌の乳牛（食用に供するための搾乳がされなくなったものを除く。）を除く。）	日量として体重1kg当たり3mg以下の量を皮下に注射すること。	食用に供するためにと殺する前4日間
鉄及びトルトラズリルを有効成分とする配合剤たる注射剤（1mL当たり鉄133.4mg以下及びトルトラズリル30mg以下を含有するものに限る。）	豚（生後4日を超えるものを除く。）	1日量として1頭当たり鉄200mg以下及びトルトラズリル45mg以下の量を筋肉内に注射すること。	食用に供するためにと殺する前71日間

（東部家保指導課 柿澤副主幹）

北陸三県和牛子牛市場の結果

4月23日、金沢市の北陸三県家畜市場で、令和8年度第1回北陸三県和牛子牛市場が開催されました。今回は全体で去勢105頭、雌41頭の計146頭の取引が成立し、富山県からは去勢25頭、雌10頭の計35頭が取引されました。

平均価格は去勢766千円（2月市場697千円）、雌643千円（同617千円）、全体では731千円（同666千円）でした。最高価格は去勢1,272千円、雌734千円と高値での取引となりました。

今回、令和9年8月に開催される第13回全国和牛能力共進会（北海道大会）肉牛の部の候補牛が出品され、6月の市場にも出品される予定です。良質な牛が揃う機会となりますので、次回6月25日（木）の市場にもぜひご参加ください。

（東部家保防疫課 槻尾係長）

酪農研修会開催される

1月28日にJA全農とやまが主催する酪農研修会が開催されました。JA全農飼料畜産中央研究所 笠間肉牛研究室 坂本賢吾先生を講師として迎え、「乳房炎対策～体細胞の減少に向けて～」と題して講演いただきました。

講演内容は、症状がなく体細胞数が増加する潜在性乳房炎の経済損失、搾乳手順の再確認や飼料による乳房炎予防対策についてでした。

1) 潜在性乳房炎の経済損失

体細胞数を指標とした乳量の損失は、体細胞数に比例して初産牛では1日当たり290g～1,470g、年間（305日）で90kg～450kgとなり、経産牛では、初産牛の2倍の乳量の損失が生じると試算されます。体細胞数を低減することで収益の改善が図られます。

2) 搾乳手順の再確認

- ・前搾りで異常乳の確認とストリップカップの使用で乳房炎原因菌の拡散を防止します。
- ・乳頭清拭は1頭1枚、タオル面は乳頭ごとに変えることが重要です。
- ・前搾りからミルクカー装着までは60秒～90秒の間で、ミルクカー装着から離脱まで5分以内で行います。

3) 飼料による乳房炎対策

飼料だけで乳房炎を防ぐことはできませんが、乳房炎のリスクを間接的に下げることは可能です。

分娩後の低カルシウム（Ca）血症は、筋肉の運動性の低下を引きおこし、乳熱、胎盤停滞、子宮内膜炎、繁殖障害、第四胃変位、ケトーシス、乳房炎の引き金になります。特に、乳頭口括約筋の収縮力低下は、乳頭口への細菌の侵入リスクが上がり、乳房炎のリスクが高まります。

分娩後の低Ca血症対策として、乾乳前期に十分量のCaを給与し、乾乳後期にはCa給与を可能な限り抑えて、分娩後の低Ca血症に対応できる母体環境を作ります。また、マグネシウム（Mg）不足により低Ca血症を引き起こすため、飼料中のMgを確認することも重要です。

毎日の慣れた作業ですが、今一度初心に戻り搾乳手順を確認してはいかがでしょうか。

（東部家保環境課 稲葉課長）

令和8年度市町村畜産担当者名簿

東部家保管内

市町村名	担当課	課長	係長	担当者	備考
富山市	農業水産課	新村 豊和	園芸畜産係・副主幹 宮内 俊貴	(同左)	TEL 076-443-2083 FAX 076-443-2185
	農林事務所農業振興課 (大沢野行政サービスセンター)	大杉 将人	振興係・副主幹 西尾 達也	振興係・副主幹 平井 哲雄	TEL 076-468-2449 FAX 076-467-0684
魚津市	農林水産課	舘 和生	農産振興係長 浦崎 邦禎	主査 澤井 優 事務職員 片山 和重	TEL 0765-23-1034 FAX 0765-23-1053
滑川市	農林課	北野 正	係長 早川 勇	主事 横山 春香	TEL 076-475-1443 FAX 076-476-0249
黒部市	農業水産課	産業振興部次長 農業水産課長 上島 晴香	主幹 若林 剛史	主事 山本 侑季	TEL 0765-54-2603 FAX 0765-54-2607
	くろべ牧場まきばの風	場長 上島 晴香	—	主事 村澤 壮太	TEL 0765-52-2604 FAX 0765-52-3925
舟橋村	生活環境課	田中 勝	—	主任技師 政二 勇太	TEL 076-464-1121 FAX 076-464-1066
上市町	産業課	碓井 秀樹	課長代理 中川 稔	主任 稲垣 俊一	TEL 076-472-1111 FAX 076-472-1115
立山町	農林課	佐伯 悦野	農政係長 大崎 喜孝	主事 野島 一輝	TEL 076-462-9973 FAX 076-463-1254
入善町	がんばる農政課	上田 久志	係長 柳沢 拓也	主事 杉本 遼太	TEL 0765-72-3812 FAX 0765-74-2108
朝日町	農林水産課	平坂 昌美	主幹 坂口 寛	主査 清水 優香	TEL 0765-83-1100 FAX 0765-83-1109

西部家保管内

市町村名	担当課	課長	係長	担当者	備考
高岡市	農業水産課	小林 新平	副課長 農産・畜産・水産係長 大塚 喬春	主事 荒屋 秀治	TEL 0766-20-1321 FAX 0766-20-1476
射水市	農林水産課	山本 和永	課長補佐 清水 知昭	主任 高田 千奈美	TEL 0766-51-6677 FAX 0766-51-6692
氷見市	農林水産課	長谷川 智弘	課長補佐 川崎 隆之	事務員 三島 幸浩	TEL 0766-74-8086 FAX 0766-74-1447
砺波市	農業振興課	小西 啓介	主幹・農産係長 吉田 光英	主任 島田 宗弥	TEL 0763-33-1409 FAX 0763-33-1129
南砺市	農政課	中島 吉範	副主幹・農産振興係長 久保 明子	副主幹 幅田 真佐弘	TEL 0763-23-2016 FAX 0763-52-6348
小矢部市	農林課	中谷 真基	課長補佐 中山 良彦	主事 金場 大史	TEL 0766-53-5849 FAX 0766-67-5009
	稲葉山牧野	場長 脊戸 栄	場長代理 山田 秀雄	主査 田中 崇樹	TEL 0766-67-2607 FAX 0766-67-5313

防 疫 情 報

全国の主な家畜伝染病の発生

高病原性鳥インフルエンザ

(4月30日現在)

事例	発生日	発生場所	経営形態	飼養羽数	血清型
24	4月22日	青森県東北町	採卵鶏	約23万羽	H5N1

豚熱

(4月30日現在)

事例	発生日	発生場所	経営形態	飼養頭数	備考
103	4月10日	宮崎県都城市	繁殖一貫	約5,500頭	

県内の主な家畜伝染性疾病等の発生

病名	畜種	発生日	戸数	頭羽数	備考
牛コクシジウム症	牛	3月31日	1	1	
牛ロタウイルス病と牛コロナウイルス病	牛	4月8日	1	1	
牛ロタウイルス病	牛	4月8日、14日	2	2	
牛パストツレラ症	牛	4月10日、16日	2	2	
マンヘミア症	山羊	4月11日	1	1	

令和7年(2025年)シーズンの野鳥の鳥インフルエンザ発生状況

事例	回収日	場所	種名
140~165事例	3月26日 ~ 4月23日	岩手県：雫石町 北海道：札幌市、旭川市、北見市	ハシブトガラス

県内における野性のしし豚熱 PCR 陽性事例 (2月26日~4月28日検査実施分)

	発見状態	発見又は捕獲日	発見又は捕獲場所	成長区分	性別
1	捕獲	4月11日	氷見市日名田地内	成獣	雌
2	捕獲	4月11日	氷見市日名田地内	成獣	雌
3	捕獲	4月11日	魚津市鹿熊地内	成獣	雌

【参考】令和元年7月30日以降の検査結果(単位:頭)

区分	陽性	陰性	計
死亡いのしし	26	4	30
捕獲いのしし	169	5,278	5,447
合計	195	5,282	5,477

新規採用職員紹介

《手崎 花梨(てさき かりん) 東部家畜保健衛生所 防疫課 獣医師》

出身地 富山県(富山市)

出身校 北里大学(実験動物学研究室)

趣味 カフェ巡り、写真、マシンピラティス

<本人からのメッセージ>

大学の研究室では精神疾患における心突然死発生のメカニズムについて学びました。生まれ育った富山県で働けることに感謝し、県民の安全と安心を守る獣医師になれるよう努めてまいります。まだまだ未熟ではありますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



編集後記

4月17日に気象庁は、最高気温が40℃以上の日を「酷暑日」という新たな名称を設定しました。今年も暑い日が予想されますが、定期的な休憩と水分補給、十分な睡眠を心がけてください。

発行所 富山県東部家畜保健衛生所 https://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1687/

〒939-3536 富山市水橋金尾新4-6 電話(076)479-1106 F A X (076)479-1140

編集者 稲葉 真(富山県東部家畜保健衛生所)

○最新号は右のQRコードからいつでもご覧いただけます。

